

令和3年度 第1回 周南市地域づくり推進協議会 会議録

1. 日 時 令和3年10月25日(月) 18時00分～19時30分
2. 場 所 周南市シビック交流センター 交流室1
3. 出席者 内山浩昭 委員、勝間田真実 委員、近藤英夫 委員、坂根美音 委員、
繁永政志 委員、竹内裕光 委員、鶴本宏美 委員、羽田司 委員、
船崎美智子 委員、三輪祥子 委員、渡辺明彦 委員、渡辺裕子 委員
(以上14名)
3. 欠席者 小林和子 委員、藤田辰夫 委員
4. 事務局 地域振興部 岩崎、橋本
地域づくり推進課 神杉、三牧、江川、中嶋
5. 傍聴者 なし
6. 会議内容

開 会 事務局が司会進行

- ・市民憲章唱和
- ・あいさつ 地域振興部長 岩崎 達也
- ・委員・事務局自己紹介

議 事

発言者	発言内容
会 長	これより議事に入る。 それでは次第に沿って進める。 はじめに、議事の ア) 地域づくり推進協議会委員の役割及び年間スケジュール について、事務局より説明をお願いします。
事務局	別紙資料をもとに説明
会 長	事務局からの説明に対し、何か不明の点や質問はないか。
委 員	— 質疑なし —
会 長	次に、議事の イ) 地域づくり推進計画の進捗状況 について、事務局より説明をお願いします。
事務局	別紙資料をもと説明

発言者	発言内容
会 長	事務局からの説明に対し、何か不明点や質問はないか。 まず、基本施策 1：地域の特性に応じた活力あるコミュニティづくり について
委員 A	「地域の夢プラン」について、策定の意向がない地区はあるのか。
事務局	人材不足等で策定が難しい地区もある。 ただ、夢プランのような計画づくりは、地域の運営にあたって重要であると捉えている。各地区の実状を踏まえながら、市内全域で策定を推進していきたい。
会 長	鹿野地区で進んでいる地域運営会社設立に向けた検討は、計画の「小さな拠点づくり」に該当するのか。
事務局	小さな拠点に持続性を持たせるため、地域運営会社等による運営が必要であると捉えている。
委員 A	計画の「小さな拠点づくり」に該当するという認識でよいか。
会 長	地域運営会社設立の検討は、鹿野総合支所の職員も検討メンバーに入っており、市の支援実績として取り上げるべきである。
事務局	計画の「小さな拠点づくり」に該当すると捉えている。
会 長	自治会加入率低下について、自治会に加入しない理由の分析はできているのか。
事務局	過去に自治会を対象としたアンケートをしているが、明確な答えは出ていない。 ただ、近年のコミュニティに対する帰属意識の低下や、自治会加入のメリット薄れなどが大きく関係していると捉えている。
会 長	自治会加入のメリットを伝えるばかりでなく、デメリットをつぶすことも必要であるとする。
会 長	「市民センター職員等の育成」については、具体的にどのような研修をしているのか。また今後はどのようなものを計画しているのか。
事務局	R2 年度はコロナの影響もあり、職員同士の情報共有、意見交換等に留まった。 今後は職員が地域のコーディネーターとしての役割を發揮できるよう、ファシリテーションなどのスキルを身に付ける研修を計画している。
会 長	そうしたスキルの前提として、職員が地域をよく知っていることが重要である。 地域について学ぶ研修はどうか。

事務局	<p>市民センター職員については地域の最前線におり、現時点で地域をよく知っていると認識している。</p> <p>スキルを身に着けることで、より良い支援につながると捉えている。</p>
会長	<p>地域の最前線にいて、客観視できなくなることも考えられる。その点の意識啓発は必要である。</p>
会長	<p>続いて、基本施策 2：多様な市民活動が促進される環境づくりについて、不明点や質問はないか。</p>
委員 B	<p>R2 年度のコミュニティビジネス創出件数が 1 件となっているが、詳細が知りたい。</p>
事務局	<p>大津島地区の（一社）磊の島のすだいたいビールのこと。（一社）磊の島の法人設立から、市で支援を行った経緯がある。</p>
委員 C	<p>ふれあいプラザ須金での販売や、大道理芝桜まつりなど、収益を上げている事業は他にもあるが、コミュニティビジネスに含まれないのか。</p>
事務局	<p>R2 年度に新規創出されたコミュニティビジネスのみをカウントしているため、1 件としている。</p>
会長	<p>市民活動に関する情報発信について、どの層をターゲットとしているのか。</p>
事務局	<p>地域づくり応援サイトという HP を中心に情報発信をしているため、サイトの閲覧者がメインのターゲットとなっている。</p>
会長	<p>今のターゲティングで問題ないか。市民活動に興味のない層へのアプローチが必要であると考えます。</p> <p>無関心層に向けた情報発信はしているのか。</p>
事務局	<p>2 月に徳山駅前賑わい交流し施設で実施する「きさらぎ文化祭」にて、市民活動団体の活動発表の場を設けている。期間中は他のイベントもあり、施設内の人通りがあるため、無関心層へのアプローチが可能である。</p> <p>HP での情報発信も無関心層に届くよう検討が必要であると感じた。</p>
会長	<p>続いて、基本施策 3：地域づくりの新たな担い手づくりについて、不明点や質問はないか。</p>
会長	<p>県外の関係人口に対するプロモーション等は検討しているか。</p>

事務局	市シティプロモーション課と連携して、情報発信をはじめとするプロモーションを図っている。
会 長	関係人口の増加によって地域の担い手が増え、ひいては市の負担軽減にもつながる。どの事業も、何をターゲットに何を行うべきかを意識して取り組んでほしい。
委員 B	三丘ゆめ広場の活動には、県外のボランティアが関わっている。 また、夜市のNPO 法人山口バイオマス利用研究会に対しても、県外からの支援の話がたくさんある。
委員 D	「新たな担い手の発掘・育成」について、R2 年度の実績が 6 人とあるが、どのように抽出しているのか。
事務局	全市民センターに照会をかけている。 例えば、夢プラン実行委員会の委員長や部会長など、R2 年度にリーダー的な役割を担い始めた方を中心に抽出している。
委員 A	「リーダー的な人材」の明確な判断基準はあるのか。
事務局	地域団体の中で役職があり、市民センターが把握できている方を抽出している。
会 長	議事 イ) の全体を通じて、不明点や質問はないか。
会 長	関係人口について、岐阜県飛騨市が「ヒダスケ！」というサイトを立ち上げている。 市の困りごとに対する協力者を募るという内容で、市のために何かをしたい関係人口を取り込むことができる。
事務局	関係人口については、関心と関与がキーになる。 まずは関心を持ってもらうために、飛騨市の事例を参考に、情報発信方法の比較、見直しを図りたい。
会 長	市民活動についてだが、現在の主な担い手は高齢者であると想像する。将来に向けて次世代の担い手が必要だが、仕事が忙しく、取り組むことができない方も多くいるはずである。 そこで、企業の CSR 活動として若い世代が市民活動に取り組めるような環境づくりをしてはどうか。
事務局	CSR 活動に対する企業の意識は高まってきている。 企業と市民活動団体との連携が生まれるとよい。

委員 F	<p>市民活動に関心を持ってくれる方もいる一方で、ネガティブな意見を持っている方もいる。</p> <p>両者の架け橋となるようなものがあれば、市民活動の促進につながる。</p>
事務局	<p>老若男女が地域づくりに関心を持つことができるよう、戦略的な情報発信などを進めていきたい。</p>
委員 G	<p>山口市で 100 人会議というものをしている。地域の住民、大学生、県外の関係人口が登壇し、取組みのプレゼンをするもので、情報発信につながっている。</p> <p>また、SNS の活用は効果的である。</p>
委員 H	<p>市民活動の継続のためには、拠点となる市民センターの役割も重要である。</p>
委員 I	<p>地域づくり推進計画も重要だが、計画にない、地域住民の自主活動を絶やさないようにすることも大切である。</p> <p>企業の CSR 活動の一環で、ボランティア休暇を取れるようにするなど、ボランティアがしやすい環境づくりが進んでいけばよい。</p>
委員 B	<p>ある会社は、地域課題の解決に向けた活動を仕事としてできる仕組みを作っている。企業も地域に出ていこうとしているように感じる。</p> <p>ボランティア休暇もいいと思う。市民活動の担い手の掘り起こしにつながるし、企業の PR にもなる。</p>
事務局	<p>貴重なご意見に感謝する。着実に検討していきたい。</p>
会 長	<p>次に、議事の ウ) 地域づくり推進計画の評価方法 について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>別紙資料をもとに説明</p>
会 長	<p>議事ウや会議全体を通して、不明点や質問はないか。</p>
委員 J	<p>R2 年度の実績を聞いて、自身が関わっているものは分かるが、今日初めて触れるもののイメージがつかなかった。</p> <p>成果物や写真等、雰囲気分かるものがあれば、評価しやすい。</p> <p>また、自身が知らないことが多くあった。情報発信をもっと進めていくべきだと思う。</p> <p>無関心層が急に HP を見ることは考えにくいので、その前段階として、口コミなどでの地道な周知活動が必要であると考えます。</p>

事務局	資料が分かりづらかった点はお詫びする。 今後の課題として検討する。
会 長	追加での資料提供は可能か。
事務局	不明点があれば別途問合せをお願いする。 地域づくり応援サイトも併せて参照してほしい。
委員 B	評価の際に、会議で発言した内容を再度記載する必要があるか。
事務局	再度記載をしてほしい。